友愛

発行所 友愛青年同志会
東京都文京区音羽町7の10 電話大塚(941)2801
編集兼発行人 北川登
定価 1部10円

特集 百号

# 正副会長を囲む 常任幹事懇談会開く

## 自立的な活動を望む
### 財政の確立と組織が肝要

本年初の「正副会長を囲む常任幹事懇談会」は、七月一日（土）午前十時から、会長邸第一応接室で鳩山薫会長、川崎秀二、宮川三郎両副会長をはじめ、鶴巻（国際）早川（情宣）佐々木（婦対）三常幹を除く全常任幹事、深津常任参与らが出席して開かれた。懇談会は昼食をはさんで午後一時までおこなわれ、組織情況、夏期行事予定、会財政、啓蒙宣伝など全般な活動情況と対策について意見の交換がおこなわれた。

この懇談会は、機関紙「友愛」の一〇〇号を記念して催されたが、出席者全員からの要望もあって、今後機会あるごとに開かれることになった。

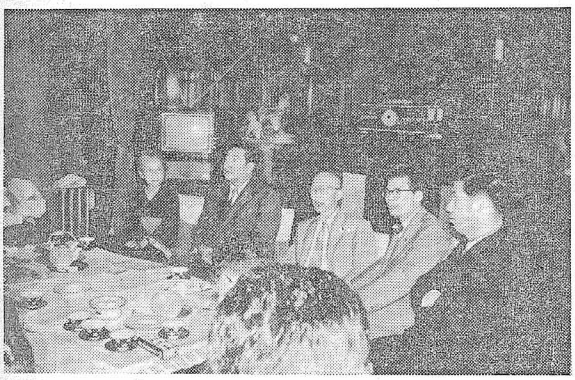
## 寝る子を起す難しさ
### 遊説はほがらかにやろうよ

懇談会は北川事務局長の司会で始められたが、まず鳩山会長より出席常幹から自己紹介をしてはどうかという提案があり、川手常幹を最初にそれぞれ入会以来の経過や抱負を述べ、その自己紹介があった。この中で、川手常幹からは「移動映画班」の思い出話しや現況が述べられ、高杉常幹は後進の育成を、柳沢常幹は友愛の精神面の充実を強調した。奥田常幹長は入会前後の事情と本会結成以来、二回の〝危機〟があった。その一回は昭和二十八年秋資金的にゆきづまりを生じた時、二回目は遊説先で前会長急逝の非報を受けた時だと思い出を語り、苦難をのり越えて今や中央三団体の一つとして大きく前進すべき時だと思う旨その抱負を述べた。

この後、鳩山会長より〝皆さんの献身的努力によって会は立派に発展してきたが、皆さんの子供が運動をひきつぐまでは頑張って頂きたい。運動に当っては自主的な活動が大切なので、記事なども私が欠席した場合は正直にありのまま書いてほしい〟と、挨拶があった。ひきつづき宮川副会長から、自己紹介をかねて〝すべてのものから引退しようという前置きで「すべてのものから引退しようと思っている六十五才の僕を副会長に引っぱり出した諸君が、後進の育成だの、引退だのとはきこえない。六、七年前に〝友愛青年同志会ということをやっているが……〟と川手君や北川君が来た時は、実はどういうふうになってゆくのか心配だった。それでつかず離れず心配しながら傍観的態度で眺めてきた。ところが〝友愛山荘〟を建て仲々堅実に、まじめにやっているのでこういう団体こそ育てなければならんのじゃないかと思い副会長もひき受けたわけだ。今日莫大な経費のかかる老人のゴルフ場はどんどん出来て、青少年の憩う場所は仲々建たない。財界人にもよく説いて、まじめな青年団体も育成するよう理解してもらう必要がある」と会財政の確立について意見がのべられた。

ついで川崎副会長は、鳩山内閣の関係としてその想い出をという司会者の注文に、閣議は余り自由な発言もなくつまらなかったが日ソ交渉は鳩山先生の信念で行なわれたと語り、友愛精神、国際交流、友愛山荘の三つで、拡充強化は組織の整備が根幹だと述べられた。ここで宮川副会長から組織の進め方について質問があり、奥田幹事長ほかから、遊説に歩くこと、拠点をつないでゆく、地方サークルに働らきかける、学生の帰郷運動など具体例をあげて説明があった。組織と啓蒙宣伝について意見を求められた宮川副会長は〝それは寝る子を起すようなものでたいへん勇気のいることだ。ボンボン歌でも口ずさみながら歩く気持が大切だろう〟と述べられ川崎副会長は、全国各県に県連が出来ることが必要で、そのためにはある程度の基礎財源が要だろうとまた財政の話しになった。

この間、カレルギーと平和思想、終戦直後「第二次山荘建設なら啓蒙活動に」できることを歓談の時をすごし、午後一時ようやく閉会した。



（写真）鳩山会長邸での懇談会、左から鳩山、川崎、宮川正副会長

入会申込は支部または本部までハガキで一報下さい
東京都文京区音羽七ノ一〇
友愛青年同志会

## 政府青年海外派遣
### 早川 田中 両君代表に決る

昭和三十六年度の青年海外派遣代表は、かねて中央青少年問題協議会（会長藤枝泰介）で選考中であったが、本会（推薦の早川広中君（常任幹事・情宣部長）は中央推薦代表として派遣されることに決定した。また、島根県宍木の田中君（東伯郡赤碕町）も地方代表に選出された。

両君らは六月二十四日から国立中央青年の家＝御殿場市＝で全代表団一行とともに十日間にわたる準備講習会に参加、目下諸般の準備を進めている。

早川広中君は東南アジア第三班で十月十三日出発、シンガポール、ジャカルタを経てオーストラリア各地を回り、マニラ、香港経由で十二月十七日帰国の予定。田中君は欧州班に属し、八月五日横浜発で、フランス、英国、オランダ、ドイツ、デンマーク、オーストリア、スイス、イタリアの諸国を訪問し、十二月五日帰国の予定である。

政府の青年海外派遣は今年で三回目であり、欧州班、米国班、南米班、東南アジア班などに分れ、総勢は約一〇〇名である。本会からは毎年中央および地方で代表に選ばれている。

## 世界連邦国際会議へ
### 五十嵐・白河君が出席

第十四回世界連邦世界大会は、七月十日から十五日までオーストリアのウィーンで開かれるが、日本青年代表として五十嵐春樹君（常任幹事・中小企業経済委員長）白河忠一君（都連参与・世界連邦日本青年協議会中央執行委員長）福岡宣一君（同上中央委）の三君が出席することとなり、七月八日午後九時三〇分日航機で羽田から元気に出発した。

## 機関紙100号記念
### 「友愛国際使節団」を派遣

躍進の一途をたどるわが友愛青年同志会は、機関紙も遂に一〇〇号を突破した。そこで常任幹事会では、その記念事業の一環として「友愛国際親善使節団」を編成し、約一ヵ月にわたって東南アジア諸国に派遣する計画を立案し、広く全組織から団員を募集することとなった。この計画は、第一回訪問の成果をみて、ひきつづき第二回、第三回と継続しようとする遠大な構想に基いている。常任幹事会は、ここにその計画を発表し、会員諸氏の参加と支援を要請できることを喜びとしている。

**派遣の要項**

派遣の目的　東南アジア諸国の青年団体および指導者と直接交流を深め、友愛親善の実をあげ、国際平和の促進に寄与する。

派遣の時期　昭和三十六年度内

派遣の人数　二十名（女子五名）

団員の資格　友愛青年同志会の会員であって、心身堅固な指導的青年男女である。

派遣の経費　一人十五万円

派遣の諸国　ヒリッピン、シンガポール、マラヤ、タイ、香港

歴訪の諸国

推薦手続き　応募者は支部、地区責任者の推薦をえて、本部事務局国際部に申請する。

〆切の期日　昭和三十六年十月三十日

## 国際委 分掌各委員を決定
### 常任理事会において

第一回国際委員会常任理事会は六月十四日午後六時から十一常任理事を集め赤坂〝たまち〟にて開催され本会から奥田幹事長が出席した。議長に横山興君（日青会）を選出し直ちに議事に入った。経過報告のあと各委員会（委員を選んだ。本会からは総務、財務の委員に奥田部君が選ばれ情報委員に鶴巻国際部長が選出された。事務局次長には斎藤浩一君（学識）の決定があり同九時三十分閉会した。

同代表は大会後英、仏、伊、スイス、英、米各国の青少年対策および文教政策などを調査の上八月十二日帰国する予定である七月四日午後六時から善茶橋ビヤホールで、都青協、世連青協、中部観光、本会など主催で「五十嵐省情君送別欧送会」が開かれ、川崎副会長はじめ本会各常任幹事など関係者三〇〇名が参列、友愛にぬりつぶされた盛大な欧送が行なわれた。

五十嵐省情君談　はからずも代表に選ばれたからには、友愛の精神を基調として各国代表と理解と友好を深め、重責を全うしたい。なお、帰途には各国を巡るので、青年運動の経験を生かして特に社会文教政策を充分に学んできたい。全国の皆さんの御支援を感謝しています。

写真は五十嵐常幹

## 〝友愛一〇〇号〟を祝う
### 日本青年団体国際委員会 事務局長 中尾栄一

友愛青年同志会が創立以来八年を経過して、今日機関紙一〇〇号記念を発刊される喜びの日を迎えられたことは、誠に御同慶にたえない。内外の情勢が極度に緊張をみせて、共産主義の脅威が増大している現在、われわれ青年団体に課せられた責務ますます重大となっている。その中にあって、全体主義勢力と対決し友愛の旗印の下、真の平和と福祉社会建設のため過しい前進を続けられている諸兄等の姿は、力強いかぎである。

幾多の困難な中から歩み八年にして今日の大をなし、全国にわたって具体的な活動を遂行している団体は、誠に異例というべきであって、青年の一人として諸兄の努力に常に心からな敬意を表している貴会の逞しい成長と躍進は日本青年団体国際委員会の広汎な活動を支える源泉の一つでもある。ここに機関紙「友愛」一〇〇号記念発刊をお祝い申し上げると共に、今後の大となっている。

## 編集後言

◇われわれの機関紙「友愛」は遂に百号を迎えた。輝ける歴史のスタート、その第一号をみてみると、

昭和二十八年二月二十五日発行
千代田区神田神保町二の十九
編集発行人　小野市太郎
トップ記事は〝友愛革命と民主政治〟と題する鳩山一郎先生の論文左に大きく、ニコヤかな鳩山先生の写真が掲載されている。われわれが守りつづけ、発展させ、充実させてきた「会則」は、この時でこの第一号に示されている。二号―三月二十五日号は〝カレルギの人と思想〟（木村毅）〝祖国を興すもの〟（鳩山一郎）の二論説で飾られ、三号は鳩山先生の〝友愛革命の意義〟という大論文で埋められている。

◇四月二十九日、東京・日比谷公会堂で結成大会が開かれ、集まった三千人の人々は、この二号の〝一友愛〟を手に持っていたことであろう。この大会の壇上で、友愛革命の意義を獅子吼された鳩山一郎先生も「平和建設の道」と題して友愛の行く手を照らされた高朝雄先生も、今はこき人となった。そして友愛はすくすくと伸び、今や全国津々浦々に〝友愛の灯火〟をかかげる親しい友垣をつくりあげた。

◇この間、百〝月の歳月を経て編集手も水谷哲、稲垣守正、渡辺昇と四代を経た。ただ「友愛」という雑誌は、今も昔も敬鳩山先生の筆であって、友愛紙のつづくかぎり変ることなく、われわれを見守ってくれることであろう。

いばら踏み
きびしく育て友愛の子
北人

## 東京都連が社教団体に認定

本会東京都支部連合会（委員長柳沢定勝君）は、このほど東京都教育委員会より東京都の社会教育団体として認定とどむねの通知を受けた。

これは都連が結成以来、誠実助け合い運動、働らく青少年のための茶、お花目録講座、留学生との国際交換など活発な活動が認められたものでこの認定を機会に社会教育振興のための活動もさらに幅広くとり組むよう積極的な意欲をもやしている。

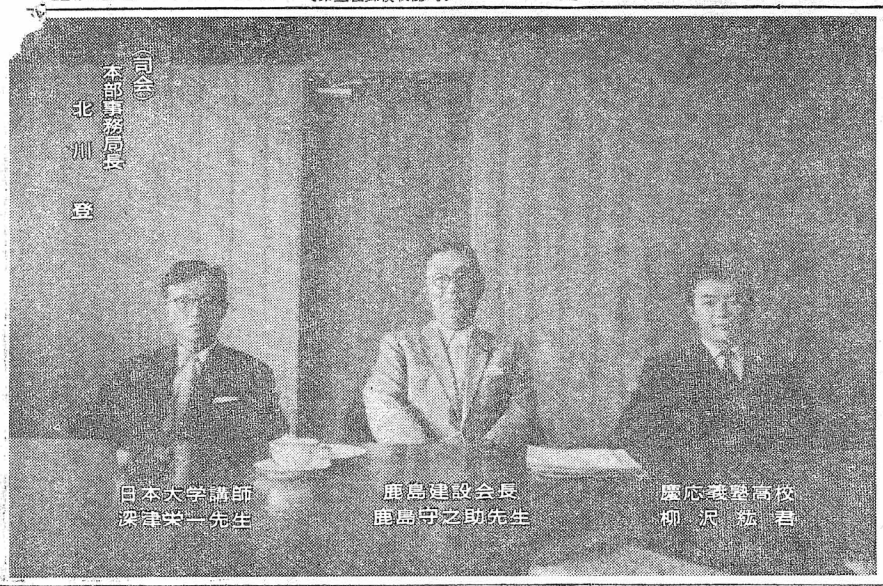
▽★△

昭和二十八年二月二十五日発行
千代田区神田神保町二の十九
編集発行人　小野市太郎

# カレルギーを語る

（上）

友愛青年同志会は御承知のように昭和二十八年四月故鳩山一郎先生を会長に推戴して結成され、八年にわたる活動をつづけておるのでありますが、鳩山先生は自身翻訳された「自由と人生」に述べられておりますように、クーデンホフ・カレルギー伯の思想に非常に共鳴を感じておられました。そこで今日は、カレルギー伯に直接お会いになっておられる本会関係の皆さま方にお集まりいただいて、カレルギーの現況や思想などについて、いろいろとお話しねがい、全国の会員の皆さんにお伝えしたいと思っております。（北川事務局長の挨拶から）




## 風格は日本の武士

### 和風土産に興味と感謝

さむらい

註記

この機関紙"友愛"百号記念特集"カレルギーを語る"座談会は、六月二十三日（金）午後三時から鹿島研究所＝東京都千代田区内幸町ハマゴムビル内＝の応接室で開かれた。

……

当初、カレルギー著、鳩山一郎訳の「自由と人生」に"クーデンホフ一家と日本"を執筆された木村毅先生も参加される予定であったが、外国からの来客で出席できず皆さんによろしくとの伝言があったことを付記しておきたい。

……

鹿島　一番最近お会いになったのは、ちょうど昨年十月三十日から十一月九日まで、フランスのニースで開かれた欧州諸国民自決会議をカレルギーが主宰しておりまして、その会議に参加したので、そのときのもようからお話しいただきましょうか。

柳沢　会議の前に二度スイスのバーゼルで、お泊りになっているホテルで会うことができたんですけれども、そのときの第一印象はすごくはりきっていらっしゃって元気でしたね。なにか日本のさむらいみたいな印象を受けたんですけれども……。それですごく親しみやすくて、日本からのおみやげを非常に喜んでいただいたんです。鳩山会長のメッセージも持っていったんですが、早速それをニースの会議場で読んでもらおうということになって、ぼくは読むつもりではなかったのですけれどもそういうことになりまして……。それからニースの会議の会場に一月ほどあとに出かけたんですが十月二十日の開会式の日にメッセージを読ませていただいて、そのときもカレルギー伯爵は、まず自分で立ってぼくを紹介して、それでメッセージを読んだあとも、だいぶフランス語で――ぼくよくわからなかったのですけれども――いろいろそれについて話していらっしゃいました。

深津　その会議でどういうことがきまったとか、そういうことはどうですか。

柳沢　どういうことがきまったかというのは、フランス語なのでぼくにはよくわからなかったのですが、三つの委員会をつくって、ヨーロッパ統合の賛成か反対かの投票を行なうことが主題で……。

深津　自決ということをいったわけですね。各国民がそれぞれ国民投票によってヨーロッパ連合に入れるかということをきめようじゃないかという。

柳沢　ええ、それが主題になったわけです。

鹿島　それで、あなたの読み上げられた鳩山夫妻と夫人のメッセージというのは、どういうような内容なの？　要点は。

柳沢　日本の友愛青年同志会からも心からその会議の成功を祈りますというような、短かくて英語で二十行ぐらいでしたからね、ふつうの至って短かい文でした。

鹿島　そうしたらカレルギーさん喜んでくれたでしょう。なんていいました。

柳沢　ええ、喜んでくれましたバーゼルで会ったときは「どうもありがとう。早速これは会議で御披露します」といっていたんですそれで読んだときには、カレルギー伯爵は会場の人に向って、「ぼくとしては内容がよくわからなかったのですけれども、だいぶ日本でそういう応援をもらったということをのべていらっしゃいました。で会場の人たちも、ぼくが読んだとき、すいぶん拍手だのいろいろな「ブラボーム」だのという声がしました。

鹿島　何人ぐらいきましたか。

柳沢　二百五十名ぐらい。奥さん同伴できますから、婦人も来せると三百人ぐらいでしょう。

鹿島　やっぱり青年ですか。

柳沢　いえ、一番下が二十五才ぐらいです。ぼくを入れないで……。

鹿島　あんた、おいくつ？

柳沢　十六です。

鹿島　ホウ！（笑）あんた、カレルギーさんと個人的に話した？

柳沢　ええ、バーゼルにいたとき、二、三十分雑談的な話をしました。

鹿島　それはおもしろいですな。あなたのいったこと、カレルギーさんのいったこと、それをひとつ……。覚えていませんかいま。

柳沢　そうですね。日本にいらっしゃりたいということですね。ぼくが最初、「ぜひ日本にこんどいらっしゃって下さい。みんな待っていますから」といったわけです。そうしたら、ぜひひきたいというのです。ですけれども、いきたいのは山々なんだけれども、すぐこく今、忙しい。でも、できるだけ近くへきたいといっていらっしゃいました。それからあとの手紙では、今年がすごく重要な年なんで、まだ当分いけないでしょうけれどもといって、大へん気になさっているようでした。

それから日本から持っていった扇子なんかすごく興味を示されていろいろ説明を求められました。それからぼくがその後、オーストリーのウイーンにいくかということを聞かれたんです。お兄さんか弟さんか、ブラザーがウイーンの郊外にいるとおっしゃいましたけれども……。

鹿島　ええ、兄さんもいらっしゃる。弟さんもあるはずですよ。

柳沢　ええ、きたとおっしゃれるから、会ってみたいなとうかといわれました。

鹿島　会いましたか。

柳沢　いいえ、会いませんでした。そのときはウイーンにいく予定がなかったものですから。

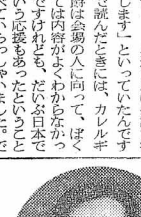
北川　あなたが差上げた扇子は鳩山先生が"友愛"と書かれたものですか。

柳沢　あれと日本舞踊用の大きなのと、両方です。

鹿島　日本へこられるという希望の手紙がきましたときに、もう世界中いったから、いまだい国は日本以外にないということだったんです。

## 平和の時代のばす

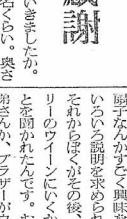
### 避けられぬか戦争の危険



ソで勉強していて、帰りにスイスへ寄りまして、ベルンのグルーテンクルムという丘の上のホテルでお会いしたのです。」

深津　私は一九五六年に、ドイツの朝から夜遅くまで会ったわけですが、そのとき初めて鳩山先生がカレルギー先生の最初の本の翻訳されたというお話を伺ったんです。それまでは無関心にして怪しておりませんでして……。そのあと、最近の著書について……。そのあと、最近の内容を主としてお話したわけです。その本が"戦争から平和へ"という本なんですけれども。

そのとき、外交問題についても私どもの会のメンバーを集めてこういう問題についてはどう考えるかということをノートにきっちり書いていきまして、順番に説明していたわけなんですが、そのときの意見で一番印象に残っているのは、戦争というのはなくすべきのだということを、最初にずばりとおっしゃるのです。平和というのはむしろ戦争の間の中間的な時期なんだ。ただ、その平和をいかに引き延ばすかということだけがわれわれに課せられた運命で、人間というのは必ず死ぬのだということもいわれたんです。今、問題になってきますけれども、中国の承認についてはどういう御意見かといったら、承認すべきだとおっしゃったんです。カレルギー先生の御意見というのは、かなり反共的で、非常に全体主義というものに対しては憤りを感じていらっしゃるのですけれども、しかし、中国の問題については、イデオロギーの問題になくて、むしろ国と国との間の関係の問題だからという、そういう御意見なんです。



北川事務局長

……

そのとき、外交問題についても私どもの会のメンバーを集めてこういう問題についてはどう考えるかということをノートにきっちり書いていきまして、順番に説明していたわけなんですが、そのときの問題についてはなくて、むしろ国と国との間の関係の問題だからという、そういう御意見なんです。

そのとき、考え方の基礎になっているのはインドとイギリスというのはコモン・ウエルスでつながっている。ソビエトと中国とがつながり、日本はアメリカとつながっている。アメリカとイギリスとソビエトがつながれば平和になるが、それには中国を仲介にする。今、中国とインドは仲が悪いから、日本と中国とうまくいけばおそらく世界の平和に非常に寄与するのじゃないか、そういう御意見なのです。

五九年にまた私はアフリカへ参りまして、その帰りにまた、スイスのブッツェルンの湖の途中にあるのですけれども、しかし、中国

## パン・アジアを引受ける

### 一国の寄贈？を受けて

深津　それでは話いろのカルギー伯と奥さんを御存知だったわけですね。

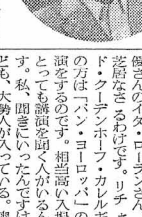
鹿島　ええ、私はベルリンの大使館にいたんです。外交官補をしておりましてね。それで、毎朝新聞を読んで、重要な記事を大使に報告していたんです。そしたらクーデンホフ・カルギーという名前で、パン・ヨーロッパ、つまり欧州連合のことを書いた記事が大きく出ておりまして。それは「パン・ヨーロッパ」というクーデンホフ・カルギーが一九二三年に書いた本の要点を書いた新聞記事なんです。それを本多大使に話をしたら、よく知っているというのです。本多大使はベルリンの公使をされていたんですね。それで日本人のお母さんも知っていて、

深津　それはそれでいいとして、カルギー伯爵ができたかどうかは、ベルリンへクーデンホフ・カルギーと奥さんとが一緒にきましてね。奥さんは有名な女優さんのイダ・ローランさん、お芝居なさるわけです。リチャード・クーデンホフ・カルギーの方は「パン・ヨーロッパ」の講演をするのです。相当高い入場料とっても講演を聞く人がいるんです。私、聞きにいったんですけれども、大勢人が入っている。奥さんの芝居は、むろん相当もうかるのでしょう。その時大使がクーデンホフ夫妻をお茶によんでくれまして、それで知合いになったわけです。早速「パン・ヨーロッパ」の翻訳しようということになったわけです。それから翻訳するといいましても、やさしいドイツ語ですからね、そうめんどうじゃない。そこで深津先生の日本大学の総長さんの永田さんに……。

深津　ええ、同いました。永田さんが清書なさったとか。

鹿島　ええ、清書して下さった永田さんは学が非常に上手なんです。習学されておったものです。

深津　ええ、清書して下さった永田さんは学が非常に上手なんです。習学されておったものですから、大使が一大使館へきて事務



リチャードさん（クーデンホフ・カルギー）もよく知っている。「君、会いたければ紹介してあげましょう」ということで、それで、ベルリンへクーデンホフ・カルギーと奥さんとが一緒にきましてね。奥さんは有名な女優さんのイダ・ローランさん、お芝居なさるわけです。リチャード・クーデンホフ・カルギーの方は「パン・ヨーロッパ」の講演をするのです。相当高い入場料とっても講演を聞く人がいるんです。私、聞きにいったんですけれども、大勢人が入っている。奥さんの芝居は、むろん相当もうかるのでしょう。その時大使がクーデンホフ夫妻をお茶によんでくれまして、それで知合いになったわけです。早速「パン・ヨーロッパ」の翻訳しようということになったわけです。それから翻訳するといいましても、やさしいドイツ語ですからね、そうめんどうじゃない。そこで深津先生の日本大学の総長さんの永田さんに……。

深津　ええ、同いました。永田さんが清書なさったとか。

鹿島　ええ、清書して下さった永田さんは学が非常に上手なんです。習学されておったものです。

深津　ええ、日本へ来られるという希望の手紙がきましたときに、もう世界中いったから、いまだい国は日本以外にないということだったんです。

柳沢　ぼくもそうと思ったけれどもとれませんでした。

鹿島　私は、前の奥さんはよく知っています。

深津　なんかカレルギーよりも年がずいぶん上だったそうですね。

鹿島　二十才上なんです。

鹿島　私は前の奥さん知っているけれどもちょっと今の奥さんには……（写真を見て）これ、お子さん？

深津　いえ、日本で生まれたときの御自身です。日本の着物を着て写したのは、これが一枚だけだというようなことでしたが。

柳沢　新しい奥さんというのは、すごく細っそりした方ですね。背の高い方で、なにか優しい感じの方ですね。

鹿島　伯爵令嬢だったんですね。

深津　スイス人だそうですね。奥さんは写真を写されたのをお嫌いらしくて写そうと思ったんですけれども……。

柳沢　ぼくもそうと思ったけれどもとれませんでした。

深津　なんかカレルギーよりも年がずいぶん上だったそうですね。

鹿島　二十才上なんです。

深津　それでは、ぼくができたかどうかは、どういう条件で決まっているかというようなことはクーデンホフ・カルギーじゃなくて、奥さんのイダ・ローランさんが電話をかけてくるわけなんです。ある日ホテル・カイザーホールにしまいにナチスの本部になったところですがーそこへいきました。そこでエミール・ルードウィヒを紹介してくれたわけしました。クーデンホフはパンヨーロッパをやる、それから私はパン・アジヤ運動をやろうというわけだね。（笑）それで、帰りがけにオーストリーのツェル・アム・ゼー――オーストリーの真中辺の田舎の湖水です。そこで会ったのが最後ですな。そのときは一大いにパン・アジヤをやりなさい――。クーデンホフのパン・アジヤというのはモンゴール連盟みたいなもんだ。支那と朝鮮と日本、インドなんかは入れないというのです。（笑）インドなんかはブリティシュ・コモン・ウエルスの方へ入れるわけです。世界というものは、国際連盟があって、あの当時五、六十ヶ国あって、その中間に五つの大きな中間的組織がある。パン・アメリカ、ソビエト・ユニオン、イギリスを中心とするコモン・ウエルス。それからあとの二つはパン・ヨーロッパとパン・アジヤという五つの機関部分から成る。で、パン・ヨーロッパは自分でやる。私には「パン・アジヤをやりなさい」それで「友情のしるしに今のインドネシヤというものはパン・ヨーロッパにとって不用のものであるからか、あんたに上げます」「ありがとう」といって握手して帰ったんです。（笑）

それから私務官の役人をしておったってしょうがない、と思いというのは、クーデンホフは自由人ということを、非常に尊重した。自由人――自由に考え、自由に行動できる人を非常に尊ぶわけです。だから、われわれもそういう自由人にならなければ、はいけない。そこで大使館をやめて退職に出ました。一番最初中立で、パン・アジヤというものをひっさげて出たんです。そうすると「パンパンいう？あんたなんですか」（笑）パンアジヤのパンがいうたって、田舎の人にはわからないわけです（笑）ですから、さんざんな目にあって落選したのです。だけどクーデンホフに、パン・アジヤをひっさげて選挙に出たが落選したと手紙でいってやったら、そうがっかりしないで、それは正しい思想だから、必ずいつか勝利を得るに違いないという激励の手紙がきました。（笑）（つづく）

## カレルギー・伯略歴

リヒャルド・エヌ・クーデンホフ・カルギー、一八九四年（明治二十七年＝日清戦争起る）東京で生れる。父はオーストリアの東京駐在代理公使。母は江戸町人の娘青山光子で八才の時欧州の名家イダ・ローラン当時三六才と結婚、一九二三年、二十九才で『汎ヨーロッパ』を出書、一躍天下の人となる。一九二六年の秋、ウィーンで二大ヨ国の参加の欧州の政治的経済的・軍事的統合運動に旗を掲げ、ナチの抬頭で祖国を追われ、スイスに亡命したが、依然として欧州連邦運動を続け、第二回シャールマン賞を授賞した。一九三八年の著書「全体主義国家対人間」は故鳩山一郎会長が翻訳「自由と人生」と題して出版され、友愛青年同志会結成の端緒となった。現在スイス、バーゼルに居住し、昨秋「欧州諸国民自決会議」を主宰して健在。六十七才、本会名誉会長。

# 第七回軽井沢講習会

## 大成果を収めて終る
### 実のある講義を習得して

去る七月七日、八日、九日の三日間にわたって第七回軽井沢講習会を友愛山荘で開催した。従来ややもすると参加者が中央にかたよりがちであったのが、今回は北海道、福島、栃木、長野、愛知、岐阜、大阪、山口等地方参加者が多く非常に盛大のうちに開会された。

今回は特に慶大教授中村菊男先生の政治問題、文部省日高幸男先生の教育問題、また深津栄一先生の国際的な視野からみた友愛理論の講義等バラエティーに富んだものであり、内容的に充実した講習会であった。しかし今後反省して、来年からの講習会にはもっと検討を加える必要があるようである。ここに講習会の詳報を伝え参加できなかった同志諸君の参考に供する。

【編集局】

### 第一日目（七月七日）

午前十時頃には参加者が会場の友愛山荘に集合した。その後受付を行った。開講式は浜本英樹君（幹事）の司会によって開会され八木宏君（幹事・学生対策部長）の開会の辞で始まり、本部を代表して宮田清君（常任幹事・事務局次長）がこの講習会で学びとったものを各支部へ帰ってから実際の友愛運動と結びつけてもらいたいとの挨拶をし、次に深津栄一常任参与（中央教育指導部長）から、今迄本会の講習会には欠かさず出席して友愛理論の講義をしてきたが、今回も国際的視野にたって友愛理論を究明しその必要性を話してみたいと述べた。その後、高野政利君（常任幹事）から日程説明、早川忠君（山荘管理主事）から友愛山荘利用上の諸注意があって、最後に友愛の歌を斉唱して開講式を終った。

そのあと直ちに中村菊男講師（慶応大学教授）の講義に入り、政治問題の研究をおこなった（講義内容は別稿）今回の講習会では講義をきいた後、参加者方々の研究時間をもち、お互いに研究する時間を与えたのであったが、中村菊男講師の政治問題については、講義内容の三点をとりあげ（1）憲法問題（2）安保体制（3）議会政治と次期行動以上の三グループにわかれて分科研究会を各々となった。ここで相当に専門的な討議がなされ、効果をあげた。

第一日目の講義はこれで終り、入浴・夕食の後、当日宿泊していた他の青年後八時より楽しい親睦会を催した。この席上深津常任参与より同宿者の為に友愛思想の理念がはっきり打ち出されたようである。講義の後、実際に友愛運動を進めていくうえにぶつかる障害、特に組織活動についてパネル討議を行なった。これは大橋進君（北海道札幌支部）吾妻充君（福島県会津若松支部）清水孝一君（山口県山口支部）渡辺弱雄君（学生部広大学）が代表討論者として参加し、司会には尾形智恒君（常任幹事、地方対策部長）助言者として深津栄一常任参与があたって開かれた。初めに友愛運動を進めてきた経験でどん点害があったか、また問題点があったかについて論者より意見の提、七時朝食、その間に屋内外の清掃と昼朝からピッタリ話ったスケジュールを全員順序よく処理し八時から深津栄一講師（常任参与中央教育指導部長）の「平和のための条件」の講義に入った（講義内容は別稿）この講義によって、ややもすると不明確になりがちな友愛思想の理念がはっきり打ち出されたようである。講義の後、実際に友愛運動を進めていくうえにぶつかる障害、特に組織活動について論者より意見の開陳、運動に邁進する参加者にとって討議を開始した。問題点が非常に活発な討論になり、今後友愛運動を展開していく上に役立つものであった。

昼食の後午後の講義に移り、日高幸男講師（文部省事務官）から日本の教育問題、特に社会教育について講義を受けた。（講義内容は別稿）日高講師の講義のあと『日教組は日本の教育に貢献しているか』と題して対立討議をおこなった。これは賛成と反対に分かれて相互の立場を述べた後フリーディスカッションの形式で討論をしたものであるが、全員が意見の発表をする機会が与えられ、討論に参加する機会の少かった会員にとっては有意義であったことと思われる。

第一日目の講義をこれで終わり夕食の後キャンプファイヤーに二時を過ぎて午後十時消灯した。

### 第二日目（七月八日）

午前六時起床、六時ラジオ体操、七時朝食、その間に屋内外の清掃と昼朝からピッタリ話ったスケジュールを全員順序よく処理し八時から深津栄一講師（常任参与中央教育指導部長）の「平和のための条件」の講義に入った（講義内容は別稿）この講義によって、ややもすると不明確になりがちな友愛思想の理念がはっきり打ち出されたようである。講義の後、実際に友愛運動を進めていくうえにぶつかる障害、特に組織活動について論者より意見の開陳、運動に邁進する参加者にとってはいてパネル討議を行なった。これは大橋進君（北海道札幌支部）吾妻充君（福島県会津若松支部）清水孝一君（山口県山口支部）渡辺弱雄君（学生部広大学）が代表討論者として参加し、司会には尾形智恒君（常任幹事、地方対策部長）助言者として深津栄一常任参与があたって開かれた。初めに友愛運動を進めてきた経験でどん点害があったか、また問題点があったかについて論者より意見の開陳、運動に邁進する参加者にとって討議を開始した。問題点が非常に活発な討論になり、今後友愛運動を展開していく上に役立つものであった。

昼食の後午後の講義に移り、日高幸男講師（文部省事務官）から日本の教育問題、特に社会教育について講義を受けた。（講義内容は別稿）日高講師の講義のあと『日教組は日本の教育に貢献しているか』と題して対立討議をおこなった。これは賛成と反対に分かれて相互の立場を述べた後フリーディスカッションの形式で討論をしたものであるが、全員が意見の発表をする機会が与えられ、討論に参加する機会の少かった会員にとっては有意義であったことと思われる。

第一日目の講義をこれで終わり夕食の後キャンプファイヤーに二時を過ぎて午後十時消灯した。

### 第三日目（九月九日）

前日と同じく午後六時起床、清掃、ラジオ体操、朝食の後八時から参加者全員によるバッティングゴルフ大会を催した。各自各班に分かれて個人賞、団体賞を競い、講習会最後の日を楽しく過ごし午前十一時より閉講式をおこない、第七回軽井沢講習会の全日程を終了した。

最後にこの講習会に御協力戴いた講師の諸先生に深く敬意を表する。（宮田記）

パネル討論をする参加者

## 講義内容概略

### 自衛力の保持は必要

講師　中村　菊男

新憲法は旧憲法第七条の定める所により同憲法の改正として勅命をもって議案を帝国議会の議に付し、両院の議決を経た後、更に天皇の裁可を経て公布された。しかし形式的にはそうであったにしても、旧憲法第七条の改正手続には一定の限界があることが一般に認められていた。つまりその予定した所は、憲法の一部改正であってその根本的な全面的改変ではなかった。特に第七条の手続を以てしては国体は変更できないとされていた。しかるに新憲法は、新たに主権在民主義の建前をとったから、これは国体を変更したものといわねばならない。従って新憲法の制定をもって、果して旧憲法第七条による同意権の改正と称しうるかが問題であり、それのみならず新憲法制定前ポツダム宣言の受諾により、国民の主権が認められ、国民が憲法の制定権者となり、議会はこの意味での国民の代表者として、先ず立憲的な意味での審議権を獲得して、憲法を審議制定したものと解する外はない。

これは新憲法の制定が革命に基づくことを意味する。次に憲法第九条に規定する「戦争の放棄」であるが、戦争や、武力の行使、威嚇は、すべて国際紛争を解決する手段として行なわれるもので、国際紛争解決の手段として戦争に訴えることは、一般に容認されている。しかし今日、国際紛争を解決する手段としては外交交渉、国際調停、裁判等の平和的方法があって、戦争に訴えることは許されない。従って国際紛争解決の手段として戦争に訴えることは、一般に容認されている場合に、そこで国際紛争解決の手段として、われわれの安全と生存を保持できるまで自衛力は持つべきである。

### 平和のための条件

講師　深津　栄一

いわゆる「平和」の問題を検討するに当って、われわれは、一口に民主主義と言うが、アメリカ、ソ連を中心とする共産主義陣営も等しく民主主義を口にする。しかしながら正しい民主主義とは如何なるものであるか。カレルギーは、これを決定する基準は二つある、一つは時間の正当性であり、他の一つは空間の正当性であると主張している。以上二つの正当性をもって、民主主義の問題は論議されるべきである。

現在の世界はイデオロギーの対立によって二つの世界に別れて争っているが、この争いは最終的には大戦争をもって終結するとは考えられない。過去の歴史上における大戦争を不可能にしたいま二つの大戦争をもって終結する場合にまず考察しなければならないのは民主主義の概念である。

極的に協力する同時に、平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼し、これは決定する基準は二つある、イデオロギーの対立と言われているが米国はいまや資本主義国ではなく、ソ連は同様にいまや共産主義国ではない。アメリカは、ルーズベルトのニューディール政策より資本主義から社会主義へと移行したのであり、ソ連はスターリンの死により共産主義を捨てたのである。両国には過去においていわれたようなイデオロギーの対立はいまや存在しない。

大戦争を不可能にしたいま二つの界大戦までに発展すると考えることはできない。地球上の一地域においては戦争は行われる可能性もあるが、それが直ちに大戦にに発展するとは考えられないのである。

が現在の米ソの対立が、第三次世

### 社会教育の重要性

講師　日高　幸男

社会教育とは学校の教育課程として行われる教育活動を除き、主として青少年及び成人に対して行なわれる組織的な教育活動でその行なわれる場所から見れば家庭及び勤労の場所その他社会に行なわれる教育である。このような社会教育は国及び地方公共団体によって奨励されなければならず、そのために図書館、博物館、公民館等の施設の設置、学校の施設の利用その他適当な方法を講ずる必要があるが、これは憲法第二十四条第二項に則り社会教育に関する国及び地方公共団体の任務を明らかにしかつ目的を定めて制定された法律に社会教育法があり、社会教育の発達・普及、奨励に関し指導と助言を与えるために文部省に社会教育局が置かれている。社会教育法は昭和二十四年に制定され、社会教育の定義を定め、国及び地方公共団体の任務、教育委員会の社会教育に関する事務を明らかにし、社会教育関係団体に関する規制を定め、社会教育委員の設置、公民館、学校施設の利用、通信教育に関する規律をなし、学校教育における学校教育法に対応する社会教育に関する基本的法律である。社会教育は請外国（特にアメリカ）において理由は平和を望む国際世論の増大である。現時点においては大国といえども一国の利益、一民族の利益のために独自の行動をすることは許されなくなったのである。世界平和を確立するためには国連合憲章の強化し、各国が国連の決定を尊重すると共に米ソは話し合いを重ね、お互いに一致協力しなければならない。

教育の場所に関しては、社会教育は、学校教育と共に教育上重視されており、学校教育の成果をあげている。諸外国は、社会教育が発達しているために学校を卒業してからも、いつでも学習することができ又サークルを作っているから研究ができるのである。わが国においては社会教育の必要性が強調されるようになったのは戦後であり、戦前は学校教育中心であったのである。現在はあらゆる面で日々発展しつつあり、近き将来には諸外国と肩をならべられるようになるであろう。

（この項別冊印刷の予定＝編集部）

## 地方の声

### 一〇〇号に望む

尾道支部　実井　忠義

◎各地区、支部で少くとも月一回〝友愛〟紙会、又は座談会を持って頂きたい。友愛紙に流れる血潮を、精神を自分のものとして、新しい流れに乗してゆく為に必要だと思う。一人で読むとつまらなくなることもあり、わかりにくい事もあるものだ。みんなで読むと、そうした悪いがなくなる。理解されて、会員の活動の原動力となるからだ。

◎各支部の会合には、その土地の知名士を招いて必ら子自分の町の実情をハッキリと認識する機会を作るよう心がけて頂きたい。

その郷土を招く時は、出きるだけ会員外からの参加者も集めるよう工夫して頂きたい。こうした機会を通じて、友愛活動の理解者と協力者が作られるからだ。更に新しい会員を得る一つの場ともなる可能性がある。

◎なすことのなくて終らば、世に長き命を保つ甲斐やなからむ。（明治天皇御製）一〇〇才の高齢歌会に詠まれる。然し前号の御製を今一度、心に味いながら読み返して頂きたい。

一〇〇号を契機として、活気あふれる友愛活動が毎号、紙上を埋め尽すよう、全国の心ある友愛青年同志会員の奮起を切望してやまない。同時に編集局も悲鳴をあげないよう、より以上の同志を然やしての御奮闘を祈る。

◎一〇〇号発刊を契機に、全国の志ある同志の横の連絡をとって頂くようお願いする。

そうして互いに御激励し得る時と所とを作って頂き、益々友愛活動が共く逞しく伸びるよう努力して頂きたい。

そうしてこそ、一〇〇号を発刊した真の喜びがあり、意義があると思う。

◎一〇〇号発刊を機に、全国の志ある友愛活動が共く逞しく伸びるよう努力して頂きたい。

そうして互いに御激励し得る時と所とを作って頂き、益々友愛活動が共く逞しく伸びるよう努力して頂きたい。

◎一〇〇号発刊を機に、全国の志ある同志の横の連絡をとって頂くようお願いする

# 三重県連盛大に結成
## 来賓から山荘寄付の申出

三重県支部連合会の結成大会は、七月八日午後一時から津市三重会館五階ホールに、六支部、一地区代表など二百名を集めて盛大に開催され、本部からは三重県出身の川崎副会長（上野市）、北川事務局長（津市）と奥田幹事長の三名が参列した。

大会は桑名支部堀田会員の司会で開会、君が代斉唱ののち、五十嵐準備委員長の挨拶、山川同事務局長の経過報告などがあって規約の審議に移り、万場一致でこれを原案どおり可決定した。

次いで新役員の選出を行ない別項のように決定した。

この際県連委員会長に選出された川崎副会長が、友愛運動の三つの方向について（一）会組織の拡大と会員自身の課題（二）世界平和運動を中心とする国際親善と連帯意識の高揚（三）友愛青年ホームの建設による運動の拡大の三点を力説し多大の拍手を浴びた。

次いで部を代表して、奥田幹事長がカルルキー伯と友愛の関係、友愛青年同志会の現状と二面の問題について挨拶を行ない、北川事務局長は地元出身の立場から県連結成の陰に隠れた労苦をたたえると共に、諸先輩の意見にもよく耳を傾けるように要望する挨拶があった。

つづいて、小原三重県教育委員長、佐々木津市教育委員長、三谷商工会議所会頭などの来賓の各位からそれぞれ別項のような祝辞があったが、特に三谷会頭から「友愛青年ホームのような集いの場所が落成して祝いたい」という挨拶があって満場割れるような拍手を浴びた。

結成大会終了後、ひきつづき同会館において記念講演会が催され、衆議院議員藤井勝志氏、前東京都議会議員堀岡兵一郎氏の二講師から二時間にわたる講演があって聴衆に大きな感銘をあたえた。

午後五時からは会員懇談会もたれ本会の国際活動、組織の方針、ドイツ青年代表の受け入れなど具体的問題について意見の交換があり、午後六時半散会した。

小原県教育委員長挨拶　故鳩山一郎先生の提唱された友愛運動が今日のように盛大な青年運動となって実を結んで、三重県連の発足をみたことは慶賀にたえない。特に青少年の社会教育振興の見地から友愛県連に期待するところが大きい。今後の御発展を祈る。

佐々木津市教育委員長挨拶　友愛の文字がこのような意義を持ち、このような運動に裏うらされていることを始めて知った。今日の世相からみて、階級間の憎悪や民族の対立を解消して友愛のかけ橋を渡すことは是非とも必要で、県連の発足を歓迎するとともに、ますます発展されることを期待する。常に中道を守り目的のために邁進してほしい。

三谷津商工会議所会頭挨拶　今日なぐ、物をさしあげる。それにはかねて友愛山荘のお話しをききも、今日も副会長さんの挨拶の中で青年の集まれる場所が欲しいということをいわれているので、友愛青年ホームというものでも作ってさしあげたい。それが健全な青年運動に役立つべきであれば、こんな嬉しいことはない。

県選役員決まる

▼会長＝五十嵐昭男（桑名）▼副会長＝伊藤一郎（四日市）小西伍（松阪）▼幹事長＝山川昇（桑名）▼事務局長＝白藤猛志（津）▼代表幹事＝加藤和夫（上野支部）

写真は挨拶する五十嵐三重県連会長

## 人物ジャイライト ②
### 苦労人の磯辺政一君

こんどの軽井沢講習会に、四年ぶりにひょっこり顔をだした磯部君の胸裏には、さまざまの感懐が浮かんで感無量のものがあったに違いない。

彼が初めて友愛の行事に参加したのが、昭和三十二年の軽井沢講習会であった。この時、持病のせん息をおかし、ぶるり苦しみに、並みいる友愛の……で、小諸で汽車でってようやく小康を。

あの時の古い山荘で、夢物語りをした友愛山荘が見事に実現をし、そこでの講習会であった。

会が山荘建設に多大の労苦を重ねたように、彼も社会の冷厳な現実の中で云い知れぬ苦労を重ねたようだ。

昨年の五月事情があって北海道へ飛び出していたが、電報で呼び戻されてみると悪いたお袋がたゞ一人、全ての財産が抵当に入って三千五百万円の借金が残されていた彼の家は、大阪船場の三代八十年続いた老舗で、倉庫及び運輸を業としていた。

家を想い、働いている三十数人の家族の生活を考へ、不退転の決意で会社の再建に乗り出した。

幸い暖い慎相者の好意によって、借財は豊次朝上げ、青水の二十六才の磯部社長が実現した。

それ以来現場にて、作業服姿で苦楽を共にする若き社長の一ヶ年の努力は会社を次第に軌道へのせることに成功してきた。

その青骨なるものは、法政大学時代応援団の副団長として、神宮球場でつちかった闘志と、友愛精神とを、しっかりと体で、友愛がどんなに大きくなっても、本部と会員のつながりを不切にして欲しいとの要望を残して帰阪した。好漢自重これから本当の人生である。

愛情であった。

多忙な彼が、大阪の友愛の会合には時、一二十七人の弁士と学校の先生や生徒さん、同志会員三〇名などが見守るうちに開会式が行なわれました。昨年の優勝校福山誠之館高校から優勝旗の返還があり、いよいよ開始です。今年は女子の進出がめざましく吉備火をふくような激しい弁論で、力強く思いました。午前中十一人の熱弁があり、会員はゴマ塩のおにぎりで楽しい昼食を頂きました。午後一時再開されて、四時すぎ審査結果

# 地方だより

## 高校弁論大会終る
### 広島県尾道支部が主催

本会尾道支部主催の第三回近県高校弁論大会は、山陽日々新聞、中国新聞、友愛広島県連などの後援を得て七月二十五日（日）土堂小学校講堂で開催され、十三校代表二十七名が参加、会長賞等寄の舌戦を展開した。

午後四時から射場英三氏（尾道市教育委員長）寺岡一義氏（尾道市社会教育委員会長）大庄古一郎氏（中国新聞社尾道支局長）森谷輝郎氏（山陽日々新聞社）四審査員による慎重な審査の結果、次のような高校、個人に栄冠が輝き寺岡審査委員長より、それぞれ賞品及び賞状が授与された。

授賞校および授賞者

団体の部
一位（会長賞）　御調高等学校
二位（副会長賞）　神辺高等学校
三位（副会長賞）　誠之館高等学校

個人の部
一位　〝新しい時代を作るもの〟　誠之館高校　菅田　靖夫
二位　〝母の愛にうたれての反省〟　御調高校　大本香代子
三位　〝心の福〟　神辺高校　田頭　恵子
努力賞　〝私は百姓だ〟　本郷高校　西尾　直一

## 参加者の感想

尾道支部　前岡初枝

午前十時、二十七人の弁士と学校の先生や生徒さん、同志会員三〇名などが見守るうちに開会式が行なわれました。昨年の優勝校福山誠之館高校から優勝旗の返還があり、いよいよ開始です。今年は女子の進出がめざましく吉備火をふくような激しい弁論で、力強く思いました。午前中十一人の熱弁があり、会員はゴマ塩のおにぎりで楽しい昼食を頂きました。午後一時再開されて、四時すぎ審査結果が発表されました。

個人一位は男子でしたが、二、三位は共に女子高生、団体では女子のみ出場し御調高校が優勝しました。全員で記念写真をとって後片づけをし、ホッとしたのは五時頃でしょうか。孔雀荘で冷たいジュースをのんで今日の一日を反省しました。来年はもっと発展したものになるでしょう。そのためには更に友愛の進出が必要です。私達女性会員はあの弁士達のように堂々と真剣に友愛運動を進めようと誓いました。

## 岡山県児島支部
### 養老施設を慰問

岡山県児島支部では、本年度の事業計画として毎月一回以上の奉事を行なうことを目標に、優秀子供会の表彰（五月既報）三陸大水救援（六月別項）など活潑な活動を行なってきたが、七月行事の一つとして養老院を訪問して老人を慰問した。

去る四月、マラヤ訪問日本青年代表として一ヶ月余にわたる視察の報告を行なった。

一、マラヤ帰国報告（吉川昭市君）

二、昭和三六年度事業及び行事予定

1、第四回新生活運動研修会
八月一九・二〇・二一日
会場　札幌市商工会議所
宿舎円山ハウス

2、社会福祉活動
歳末扶助会は運動を十二月に行ない、保育関、盲学校、母子寮に勤労奉仕と慰問

3、北海道個展画に協力
七月から一ヶ月間実施
清掃奉仕と早起会

4、背振友愛山荘
背振友愛山荘（管理主任真武信華氏）はこのほど正式に日本ユースホステル協会の契約ホステルとなったので、その記念の小とつとして、付近の少年図書館を開設することになり、本の寄贈を求めている。

これは友愛山荘の付属として設けられるが、建物は別個に推原部落から家屋の提供を受け、青少年に解放して一般の利用に供しようというもので、世話人の真武会員は各方面に文書を配布して協力を仰いでいる。各支部や会員の組織的な加本運動が期待される。

送付先　福岡市外早良町椎原　背振友愛山荘

## 背振友愛山荘
### 図書館を設置

## 事業と役員決まる
### 札幌支部総会ひらく

（札幌発）札幌支部（支部長永越博君）では去る二十八日札幌商工会議所において支部総会を開き本年度事業、新役員などをきめ、次のような行事を行なった。

1、マラヤ帰国報告（吉川昭市君）

去る四月、マラヤ訪問日本青年代表として一ヶ月余にわたる視察の報告を行なった。

2、友愛山荘の建設と事業部強化

3、昭和三六年度事業及び行事予定

1、第四回新生活運動研修会
八月一九・二〇・二一日
会場　札幌市商工会議所

2、社会福祉活動
歳末扶助会は運動を十二月に行ない、保育関、盲学校、母子寮に勤労奉仕と慰問

3、北海道個展画に協力
七月から一ヶ月間実施
清掃奉仕と早起会

4、背振友愛山荘
背振友愛山荘（管理主任真武信華氏）はこのほど正式に日本ユースホステル協会の契約ホステルとなったので、その記念の小とつとして、付近の少年図書館を開設することになり、本の寄贈を求めている。

これは友愛山荘の付属として設けられるが、建物は別個に推原部落から家屋の提供を受け、青少年に解放して一般の利用に供しようというもので、世話人の真武会員は各方面に文書を配布して協力を仰いでいる。各支部や会員の組織的な加本運動が期待される。

送付先　福岡市外早良町椎原　背振友愛山荘

## 東北三陸大火救援
### 各地で積極的な募金

先の三陸大火被災地に対して本会では全国的な救援で救援活動を展開してきたが、現在までに次のような活動の報告がきている。

岡山県児島支部（支部長玉井昭道君）では、慰問袋と芳名簿を作成支部内に世話人会取扱者二〇名をきめて全市的な募金を行ない、計一三二人、八七六円と衣類、その他の合計八三六点を集計して市の社会福祉を通じてこれを送った。

北海道札幌支部では、余市支部（支部長吉岡栄子君）と協力して六月十五日、市内大通り公園四丁目で「東北地方大火救援街頭募金」を行ない、一一、一〇八円を集計して青山・水越両君が日赤札幌支社を訪れてこれを寄託した。

東京都支部連合会（委員長柳沢定勝君）では学生部・文化各サークルと合同で街頭募金や衣類贈呈運動を展開し、九、八一二円衣類一三〇点を現地へ送った。

このほか、尾道、広島、福岡、福島各県支部でも街頭に進出して募金活動を行なっている。

## 月刊予定
### 六月度

6/12　選挙法改正運動協議会調査研究委員会（午前十時半於日青館）同前奏委員会（午後一時於日青館）富田常幹出席

13　新原水素懇談会（午後二時於全労本部）奥田幹事長・尾形常幹・蓮見常幹出席

14　青少年団体懇談会（午後二時於交部省）奥田幹事長出席

15　日本青年団体国際委員会（午後一時於文部省）蓮見常幹出席

16　青年の像建設委員会（午後二時於文部省）蓮見常幹出席

17　富山三郎副会長香港行（午前十時羽田空港発）

18　日本青年団体国際委員会第一回研究会（午後一時於参議院会館）高杉・蓮見常幹出席

19　東京都連出茶の会・常任委員会（午前十時於鳩山会長邸）

20　シンガポール青年代表アンケート見学

21　学生部テニスの集い（午後一時於立大テニスコート）

22　選挙法改正運動協議会調査研究委員会（午前十時半於日青館）

23　日本婦人友の会和裁の集い（午前十時於鳩山会長邸）

24　日本青年団体国際委員会新原水素懇談会（午前十時半於国際委）

25　組織小委員会（午後一時於本部事務所）

26　日本青年団体国際委員会総務委員会（午後六時於国際委）

27　平和建設国民会議事務局会議（午前十一時於全労本部）尾形常幹出席

28　日本青年団体国際委員会総務委員会、財務委員会（午後一時於国際委）蓮見常幹出席

29　平和建設国民会議世話人会蓮見常幹出席

30　国立中央青年の家運営委員会（午後一時於総理官邸）北川事務局長出席

7/1　正副会長会開催（午前十時於鳩山会長邸）

2　日本青年団体国際委員会常任理事　懇談会（午後一時於申府）奥田幹事長出席

3　東京都連出茶の会（午前十時於鳩山会長邸）

4　選挙法改正運動協議会調査研究委員会（午前十時於日青館）

5　第三回政府青年海外派遣団結団式（午後一時半於総理官邸）早川・尾形・蓮見各常幹出席

6　五十嵐省懇常幹海外派遣歓送会（午後六時於吾妻橋）

7　第七回軽井沢講習会第一日目（於軽井沢友愛山荘）

8　早朝築拳会（午前六時半於谷中墓地）

9　第七回軽井沢講習会第二日目（於軽井沢友愛山荘）

10　五十嵐省懇常幹海外派遣団結団式（午前十時半於全労本部）尾形常幹出席

11　日独青少年交歓実行委員会（午前十一時於都市会館）奥田幹事長出席

12　第四回執行部会議（午後一時於本部事務所）

13　組織小委員会（午後一時於本部事務所）

14　日本青年団体国際委員会総務委員会（午前十一時於全労本部）尾形常幹出席

15　第七回軽井沢講習会第三日目（於軽井沢友愛山荘）

16　選挙法改正運動協議会調査研究委員会（午前十時半於日青館）

17　第七回軽井沢講習会第四日目（於軽井沢友愛山荘）

18　選挙法改正運動協議会調査研究委員会（午前十時於日青館）

19　三重県連結成大会（於津市三重会館）北川事務局長出席

20　五十嵐省懇常幹世界連邦国際会議へ出発（羽田空港）

21　第七回軽井沢講習会　最終日（於軽井沢友愛山荘）

22　選挙法改正運動協議会調査研究委員会（午前十時於日青館）

23　平和建設国民会議事務局会議（午前一時於鳩山会長邸）

24　国連デー婦人セミナー（午前十時於尾崎記念会館）

25　文京友愛婦人会総会（午後一時於鳩山会長邸）

26　東京都青年団体協議会総会（午後五時於尾崎記念会館）

27　カルルキーを語る会（午後三時於尾崎研究所）

28　文京友愛婦人会総会（午後一時於鳩山会長邸）

29　時局華道会館

30　国連デー婦人セミナー（午前十時於尾崎記念会館）

31　選挙法改正運動協議会調査研究委員会（午前十時於日青館）

32　平和建設国民会議事務局会議（午後一時於全労）蓮見常幹